

【日 時】平成18年9月27日(水) 19:00～21:15

【場 所】下山支所2階会議室

【出席者】委員11名(欠席5名)

事務局 (支所長 副支所長 加藤 酒井 川合)

【次第】1 開会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員指名

4 前回会議録の承認

5 ワークショップ

(1) 本日の進め方について

(2) 計画を実行するための連携方法の検討

(3) 地域自治区内の組織が連携する仕組みづくり

6 閉会

【内 容】

1 会長あいさつ

2 会議録署名委員氏名

藤沢委員を指名

3 前回会議録の承認

第8回の下山地域会議は、9月15日金曜日午後7時より8時40分まで下山支所の2階会議室で行いました。出席委員は、14名で下山地区工業開発計画について、市議より説明をいただきました。それに引き続き、廃校4校の利活用ということで、事務局より説明をさせていただきました。

(全委員承認)

4 ワークショップ

(事務局) 地域課題解決に向けて、課題を絞り込み課題の解決に向けていろいろ検討をしていただきました。今、テストコースの問題がありまして、環境が変わってくるということが想定されるわけですが、今は青写真が出来た状況でありますので、計画が明らかになった段階において検討していくことになるかと思えます。当面は、コミュニティ会議と地域会議の連携を深め、役割分担を行い、信頼関係を深めて行くことになるかと思えます。今日はそのことを踏まえてのワークショップを行っていただきたいと思えます。

(ファシリテーター) 今日は、問題解決を地域全体で取り組むときに、地域会議がどんな役割を果たすべきかを話し合おうと思えます。地域会議の役目は地域課題解決に向けた方向性を示すことでもあります。地域会議は、手足となる実行部隊を持っていませんので、主体的に活動していくのは住民でありコミュニティ会議であると思えます。そこで、今後はコミュニティ会議と連携をどのようにとっていくかということになるかと思えます。

地域会議は「考え働きかける主体」とあり、地域課題の発見と課題解決策のまとめをするところ
であります。また、コミュニティ会議は、「考え実践する主体」であり、地域会議との関係は連携と
情報の提供・共有をする関係であります。具体的にいいますと、地域会議・地区自治区・コミュニ
ティ会議の全ての方が共通の認識を持っていなければ機能しないと思います。そして、コミュニ
ティ会議の発足を待ちたいと思います。

今回は、皆さんから出された問題・課題について、実施するときに生まれてくる課題について、
地域会議として存在価値を発揮して、どのように問題に取り組んでいくかということについて手順
を踏んで考えてみたいと思います。

今まで3つのテーマがあり、今後の方向性が見えてきたという状況であります。計画を実行する
ための連携方法の検討ということで、各グループに分かれていただき、計画を実行するため地域会
議としてどのような働きをするのかを検討いただきたいと思います。そして次のステップとして、
コミュニティ会議と連携していく中で地域自治区内の組織が連携する仕組みづくりについて、話し
合っていたきたいと思います。

(グループで話し合い)

(ファシリテーター)全体で議論をしたいと思います。最初のステップとして、どちらにどのよう
にアプローチをしたらいいのかということでありました。2つ目が、テーマに限らず地域会議とコ
ミュニティ会議の位置づけですとか、連携のありかたについて議論をいただいたと思います。グル
ープで話し合われたことを発表していただきたいと思います。

(委員)学童保育についてであります。保育園の母の会や小学校のPTAの方に問題提示をして、
アンケートを実施するということでもあります。内容は、学童保育を希望する人数の把握だとか、時
間帯ということアンケート調査してはどうかという意見がでました。また、実際に学童保育を行
っているところを訪れて、話を聞きたいという意見も出ました。そして、コミュニティ会議には、
青少年部会やふれあい部会がありますので、連携がとれたらと思いました。

(ファシリテーター)キーパーソンがかなり出てきて、どこにアクセスすればいいのかというこ
とがかなりクリアになってきたかと思います。

(委員)テーマが「高齢者が生き生きと楽しく働けるということ」で、課題を解決するための第1
ステップとして、地元の人若者と各年齢層の人にヒアリングをするということでありました。ヒ
アリングをやるという前に、地区自治区の役割と位置づけをはっきりしておかないと、誰がどう
するのかということがわからないと思いますので、位置づけをはっきりしておかないとだめだとい
う話し合いを行いました。

(ファシリテーター)コミュニティ会議と地域会議の位置づけを明確にしようということでありま
した。次に若手リーダーのグループよろしくをお願いします。

(委員)テーマが、「若者が参画できリーダーが輩出できる新しい組織づくり」ということで、組織
をしっかりしたいということでもあります。新しい仕組みについて、旧下山時代は、各地区に議員が
いた時期はよかったです。今はそれが無くなりました。地域の自治区とコミュニティ会議が
できたわけではありますが、地区の意見をどのように吸い上げていくかを考えると、役所とのパイプ
役は地域会議が担うことになると思います。住民の皆さんが全体の仕組みを理解しないと、地域
会議はなんだということになってしまうので、その仕組みを理解していただくということと、地域
会議の委員の選出方法をしっかりしておかないといけないと思います。選出方法をしっかりしてお

けば、地域の代表で出てきているという立場が明確になり、バックボーンがしっかりしてくると思います。

（ファシリテーター）色々意見がでました。結局、位置づけと役割がはっきりしていないといけないということです。そして今までの議論を住民に理解していただき、住民と一緒にやっていけないと思います。そこが今日の到達地点ではないかと思います。

（会長）旧市内は、自治区制度とコミュニティ会議が以前からありますが、自分の意見がどのように伝わっていくのかとわからないという意見がありました。今立ち上げるコミュニティ会議の組織は、今まで役場が色々やってきた事業を皆さんで行いなさいということであると思います。それがうまく機能していけばいいのですが、少し心配している部分もあります。

（ファシリテーター）今日の到達地点は、今まとめていただいたとおりであります。具体的な中身はこれから議論があると思いますし、変わっていくこともあると思います。

（事務局）コミュニティ会議の総会が10月21日土曜日に行われますので、地域会議の委員さんも是非出席いただきたいと思いますのでよろしくお願いします。